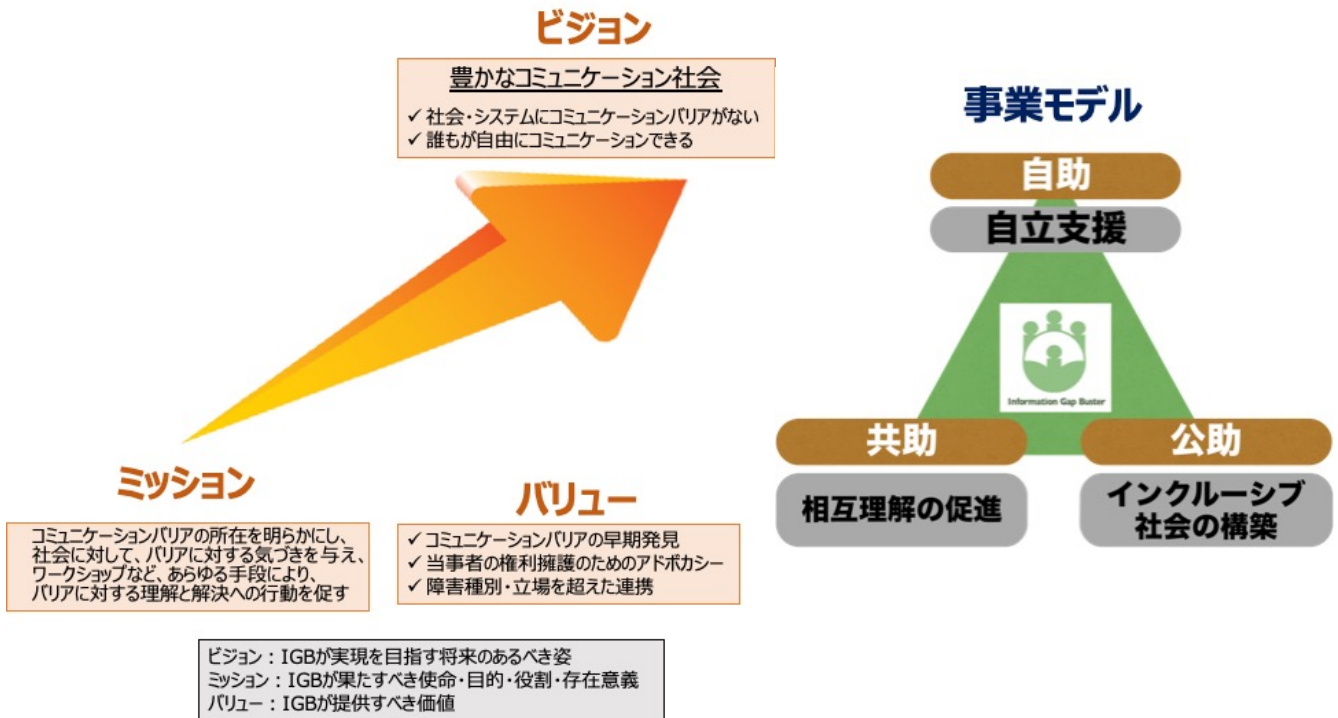


2020 年度 IGB 事業計画 (案)

【2020 年度事業方針】

1. IGBにおけるミッション・バリュー・ビジョン / 事業モデル(再掲)



※現時点、プロボノにて、ミッション・バリュー・基本戦略を見直し中。

2. 2020 年度の活動方針

基本的に 2019 年度の継続とする。

●多者協働プラットフォームモデルの構築

既存の同一目的の組織の場合、人材、コストの面で限界があり、継続することが困難。そのため、多様な目的を持つ関係団体が参加することでそれぞれのメリットを得ることができる場（多者協働プラットフォーム）の構築を長期的に検討する。（2019 年～2021 年を予定）多者協働プラットフォームの構築にあたっては、ミッション、バリュー、ビジョン、事業モデルなど、プロボノを活用して、持続可能な体制にするための見直しを進める。

●人材教育

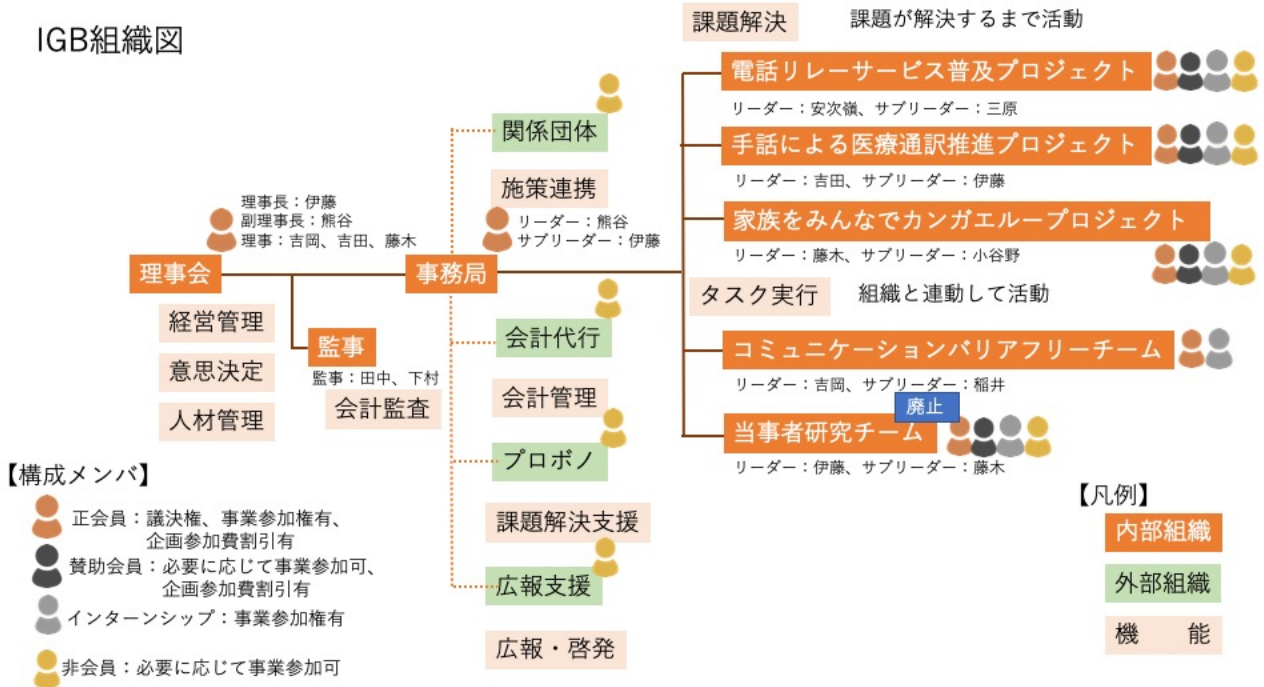
「依存型」人材から「自律型」人材への育成を行う教育プログラムを検討予定。
（10 月～3 月を予定）

●事務局体制の強化

・「マニュアル」作成。

3. 運営体制について

下記の通り、チーム・プロジェクト体制を構築し、実行する。



4. 各チーム・プロジェクトの活動方針

◎ 事務局

- ・政府や関連団体へ要望を出して、社会問題の解決を図る。
- ・総会運営、横浜市、法務局などのNPO関係の事務、会計事務、会費徴収、団体活動に必要な情報の共有、情報共有ツール運営、助成金獲得などを行う。
- ・市民へコミュニケーションバリア問題をWebサイト、facebookなどを活用して情報発信する。
- ・会計処理のための会計代行サービスとの連携、立替金の決済処理などを行う。
- ・県指定NPO法人化のための準備を行う。(将来的には認証NPO法人化を視野に入れる)
- ・バリューのブラッシュアップなどプロボノとの連携を行う。(デロイトトーマツコンサルティングを予定)

◎ コミュニケーションバリアフリーチーム

- ・コミュニケーションスキルアップの企画を行う。(プレゼンテーション、ファシリテーションなど)
- ・市民へコミュニケーションバリアの問題を啓発する。
- ・コミュニケーションバリアフリーについて、関連団体とコラボし、社会に対して啓発する。
- ・外部団体と連携し、コミュニケーションバリアフリーを実現する製品・サービスの創生を行う。

◎ 家族をみんなでカンガエルプロジェクト

- ・家族内のコミュニケーション問題を取り上げ、解決策を模索する。

◎ 電話リレーサービス普及プロジェクト

- ・電話リレーサービスの公共インフラ化のための啓発を議員・インフルエンサーをメインターゲットに行う。(シンポジウム、啓発パンフレット配布など)

◎ 手話による医療通訳推進プロジェクト

- ・手話による医療通訳の普及に向けた取り組みを実施する。
- ・調査事業「病院で働く手話言語通訳者の全国実態調査」を実施する。
- ・病院へ手話通訳者の配置を目指し、陳情等の取り組みを実施する。
- ・医療用語手話動画 (DVD) を作成する。

2020年度の予定（企画）

【1年間の予定】

5/30(土)：専門通訳

[済]

6/28(日)：総会

[決定]

1/30(土)：家族をみんなでカンガエルプロジェクトミーティング、
今井絵理子さん登場予定、企画・スタッフメンバー募集中[決定]

3月：茶話会

[予定]

備考：医療通訳シンポジウムは関西学院大学手話言語研究センターと共催予定でしたが、新型コロナウイルスの関係で今年度は中止し、来年度開催予定となりました。